



家庭学習の手引き ～自ら学ぶ力を高めるために～



海南市立
下津小学校
令和4年度

小学校の学習は、社会人として将来自立するための基礎となる大切なものです。とくに「読むこと」「書くこと」「計算すること」などは、どの子にも、しっかり身につけさせたい力です。
学校では、毎日の授業はもちろん、朝学習や補充学習など、その子その子に応じた指導の取り組みを通して、基礎学力を高めるための努力をしていますが、ご家庭と協力することによって、その力は何倍にも高めることができます。お子さまの基礎・基本の定着をより確かなものにするために、この手引きを家族の皆さんがよく目にする場所に貼っていただき、よりよい家庭学習の習慣をますます身につけさせてください

1. 規則正しい生活習慣やいろいろな生活経験が学習力の基盤をつくれます。

- ・早寝早起き、朝食、朝の排便を習慣化しよう。
- ・自分のことは自分でしよう。
- ・外遊びや運動をして、体力を高めよう。
- ・家の手伝いをすすんでしよう。
- ・テレビやゲームの時間を決めよう。



2. 家庭学習の習慣づけのために

(1) 学習時間のめやす

- 1・2学年・・・20分以上
- 3・4学年・・・40分以上
- 5・6学年・・・60分以上



- (2) 大切なポイント ～決まった時間、決まった場所で～
- 宿題はきちんとする。
 - 決まった場所で一定の時間取り組む。
 - 学習の足あとがよくわかるノートをつくる。
 - ・下敷きを敷く。
 - ・字をていねいに書く。
 - ・定規を使って直線を引く。
 - 机の上をきれいに片づける。
 - ・国語辞典や漢字辞典、その他の辞典(事典)類を身近なところに置いて調べよう。
 - ・日本地図や世界地図を身近なところに置いて調べよう。
 - よい姿勢でする。
 - 学習するときはテレビを消す。
 - 自分で時間割や翌日の準備をする。



(3) 宿題以外にこんな学習にチャレンジしよう

- 国語 ・漢字練習・言葉の意味調べ・視写(全文書き写し)
 ・読書・音読・日記など
 ・詩・短歌・俳句などの暗唱、俳句作り
 ・新聞や読み物に興味を持つ。
- 算数 ・計算練習・百ます計算・文章問題
 ・自分で作った問題を解く。
- 社会・理科・生活科など
 ・勉強したところに関係がある事から本や事典(辞典)などで調べてまとめる。
 ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの練習
- 全科目を通して
 ・授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる。
 ・テストでまちがえた問題をノートに写してもう一度解いてみる。

3. 各学年で身につけたい力

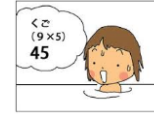
1年 習慣づけの1年生

- ① えんぴつを正しく持って字がていねいに書ける。
- ② ひらがな・カタカナが読めて書ける。
- ③ 1年生で習う漢字(80字)のすべてが読め、ほとんど書ける。
- ④ 国語の教科書の文章を、大きな声ではっきり音読できる。
- ⑤ 助詞(は へ を)の使い方がわかり、簡単な文が書ける。
- ⑥ 繰り上がり・繰り下がりのある、たし算・ひき算ができる。
- ⑦ 時計を見て、時刻がわかる。



2年 習慣が定着しはじめる2年生

- ① 2年生で習う漢字(160字)のすべてが読め、ほとんど書ける。
- ② 助詞(は へ を)を適切に使い分けて文章を書ける。
- ③ 主語や述語がわかり、順序よく話することができる。
- ④ 国語の教科書の文章を大きな声ですらすら音読できる。
- ⑤ 2けたのたし算・ひき算を筆算できる。
- ⑥ 九九を暗記し、すらすら言える。
- ⑦ 時計を見て、時刻や時間がわかる。
- ⑧ 定規を使って長さを測ったり、正確に直線を引いたりできる。



3年 自分で学習を見つけはじめる3年生

- ① 3年生で習う漢字(200字)のすべてが読め、ほとんど書ける。
- ② 国語辞典の引き方がわかり、活用できる。
- ③ 主語・述語・修飾語の意味がわかり、まとまりを考えて文章が書ける。
- ④ ローマ字の読み書きができる。
- ⑤ かけ算の筆算やわり算が正しくできる。
- ⑥ コンパスが正しく使える。
- ⑦ はかりを使って重さがよめる。
- ⑧ 地図記号がわかる。

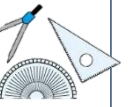


4. 読書、遊び、いろいろな体験の中にも「学習」がいっぱいあります。

- ・読書は言葉の力や豊かな心を育むので、すすんでいろいろな本を読もう。
 - ・ニュース番組や新聞で報道されている社会の出来事を、親子で話し合おう。
 - ・自然や生き物とのふれあい、もの作り活動を大切にしよう。
- そんな中に、学習内容や生活の知恵がいっぱいつまっています。
- ・友だちと遊ぶことやいろいろな経験が、子どもの人間性・社会性を高めます。

4年 「学習」を工夫する4年生

- ① 4年生で習う漢字(200字)のすべてが読め、ほとんど書ける。
- ② 国語辞典と漢字辞典を正しく使える。
- ③ ローマ字を適切に読み書きできる。
- ④ 文と文のつながりを考えながら指示語や接続語を使うことができる。
- ⑤ わり算の筆算、少数のたし算ひき算、分母が同じ分数のたし算ひき算ができる。
- ⑥ コンパスや分度器を使って簡単な図形が描ける。
- ⑦ 文章問題では、文章を正しくとらえ、順序立てて解ける。
- ⑧ 47都道府県の位置がわかり、名前も漢字で書ける。
- ⑨ 星や月に興味をもって観察ができる。



5年 「学力」を伸ばす5年生

- ① 5年生で習う漢字(185字)のすべてが読め、ほとんど書ける。
- ② 習った漢字を使って熟語が書ける。
- ③ 小数のかけ算・わり算ができる。
- ④ 分母のちがう分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤ 「割合」の意味がわかり、その問題が解ける。
- ⑥ 「単位量あたり」の意味がわかり、その問題が解ける。
- ⑦ 日本の地名や位置を知り、産業の特色がわかる。
- ⑧ 「天気の変化」や「動物や植物の成長」に興味をもって調べられる。



6年 中学校への足がかりをつくる6年生

- ① 小学校で習う漢字(1006字※6年生は181字)のすべてが読め、ほとんど書ける。
- ② 小学校で習った漢字を使って熟語が書ける。
- ③ 分数のかけ算・わり算ができる。
- ④ 「速さ」の意味がわかり、その問題が解ける。
- ⑤ 「比」の意味がわかり、その問題が解ける。
- ⑥ 歴史の流れがわかり、主な登場人物の出来事についてわかる。
- ⑦ 日本の政治の仕組みがわかる。
- ⑧ 実験や観察したことに興味をもち、くわしく調べられる。



保護者の皆様へ

ご家庭でのご協力をお願いします。特に、低学年では学習するときに、できるだけ近くでみてあげてください。また、静かな環境の中で取り組ませてあげてください。できるだけ毎日音読をきいてあげてください。そして、少しずつ自分で時間割や学習用具をそろえられるようにお話ししてください。中・高学年は、自主的に学習に取り組めるよう、励ましてあげてください。

